

やがて巡^{めぐ}り巡^{めぐ}る季節^{きせつ}に

僕^{ぼく}らは息^{いき}をする

思^{おも}い出^でになるその時^{とき}まで

ずっと忘^{わす}れないで

ひと^{ひとり}人^ひぼち膝^{ひざ}を抱^{かか}えて

見^み上^あげたんだあの日^ひ

思^{おも}ってたより晴^はれた空^{そら}と

あなたがそこにいた

みえてるもの全^{すべ}て胸^{むね}に焼^やき付^つけたんだ

いつか来^くるさよならの時^{とき}のため

だけど今^{いま}は気^きづかぬふりをして

僕^{ぼく}は笑^{わら}うあなたと今^{いま}

かな 悲^{よろこ}しみ 喜^{しんぞう}び 心^こ臓^{どう}の鼓^こ動^{どう}

つた 伝^{うご}って動^{ぼく}かすんだ僕^{いのち}という命

おも 想^{かんじょう}いや感^か情^ね 掛^あけ値^{あい}なしの愛^{あい}を

あなたがくれたから

すす 進^みむよ 見^みててくれる?

まよなか 真^{あめ}夜^ふ中の雨^やが降^ふり止^やめば

ぼく 僕^{とお}はきつと遠^{とお}く

しんばい 心^{しん}配^{ばい}しないで同^{おな}じ空^{そら}の

した 下^{ぼく}に僕^{ぼく}はいるよ

み 見^{すべ}えてるもの全^{すべ}て守^{まも}ろうとするほどに

あなたは^{やさ}優しさで^{きず}傷つくから
こた^{さが}答えを探たび^{うしな}失うんだ
だいじ^お大事なもの こぼれ落ちていく

いくせん^{とき}幾千の時を超えいつかまた^で出会う
つな^て繋いだ手の感^{かんしよく}触を^{おも}思い出して
あの^{よる}夜に^{ぼく}僕らは^{あした}明日を^{ねが}願った
かな^{ねが}叶わぬ願いだとわかっていたとしても

とき^{くも}時に雲^{とき}時に風^{かぜ} 形^{かたち}を変えながら
あなたの^{もと}元に^{ほく}ほら^む僕は向かうよ

そして^{ぼく}僕の^{こえ}声があなたに^{とど}届くなら
なんてあなたは^{こた}答えるのだろう
ありがとう ごめんね
ひどいやつだ バカだな
あい^な愛してる^{わら}泣いて笑うのは
たぶん^{ぼく}多分僕かも
き^{きこえる}聞こえる？

かな^{よろこ}悲しみ^{しんそう}喜び^{こどう}心臓の鼓動
つた^{うご}伝って動かすんだ^{ぼく}僕という^{いのち}命
おも^{かんじよう}想いや感^か情^ね 掛け値なしの^{あい}愛を
あなたはくれたんだ
きせき^ひ奇跡のような^び日々を
いつでもここにいるよ